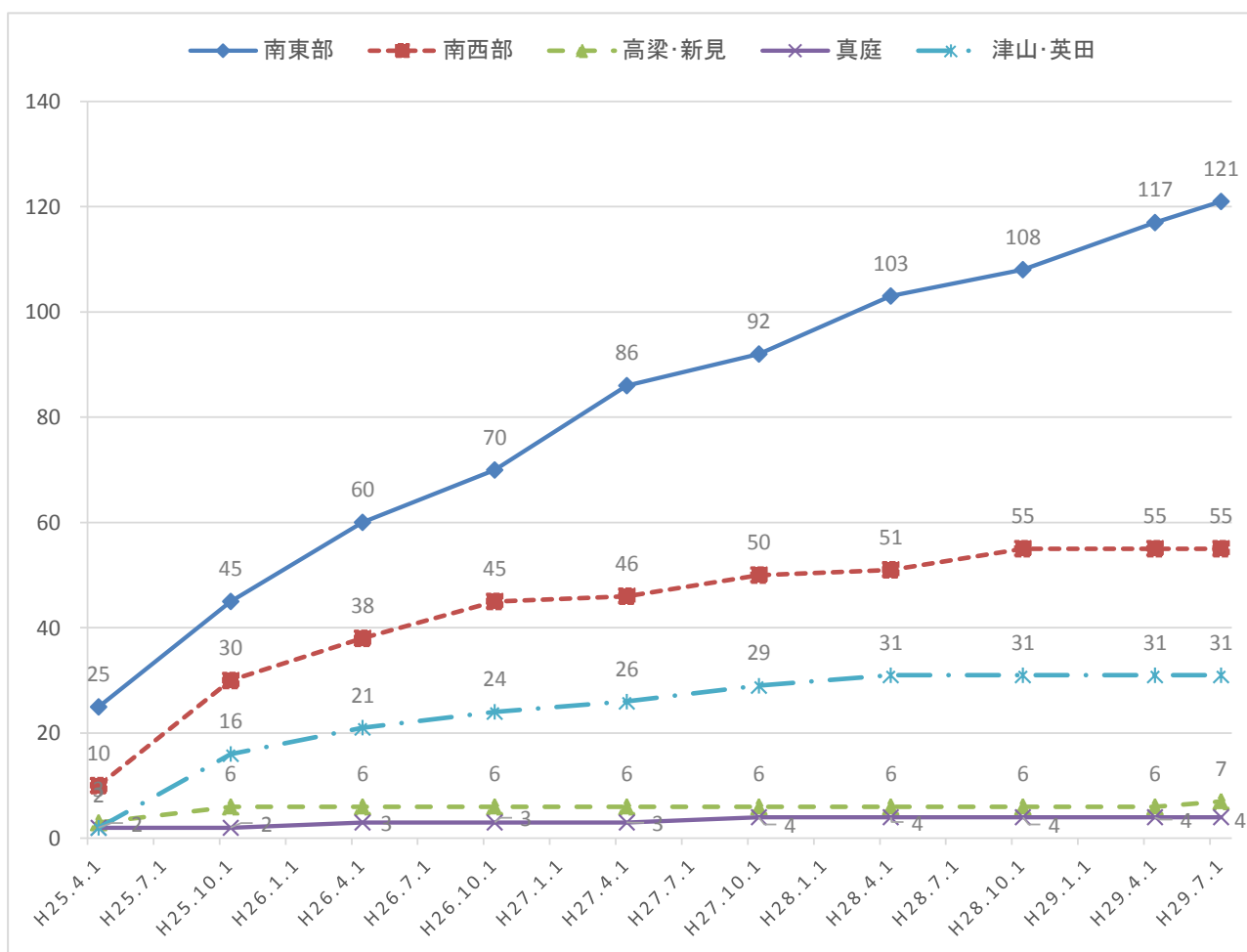


平成28年度後半  
急性心筋梗塞医療連携パス  
(安心ハート手帳)  
実績アンケート結果



## 急性心筋梗塞医療連携パス 届出医療機関数の推移

	H25.4.1	H25.10.1	H26.4.1	H26.10.1	H27.4.1	H27.10.1	H28.4.1	H28.10.1	H29.4.1	H29.7.1
南東部	25	45	60	70	86	92	103	108	117	121
南西部	10	30	38	45	46	50	51	55	55	55
高梁・新見	3	6	6	6	6	6	6	6	6	7
真庭	2	2	3	3	3	4	4	4	4	4
津山・英田	2	16	21	24	26	29	31	31	31	31
計	42	99	128	148	167	181	195	204	213	218



急性心筋梗塞医療連携パス 届出医療機関数

29.7.1	急性期		かかりつけ医		計
	病院	診療所	病院	診療所	
南東部	9	1	15	96	121
南西部	2	0	21	32	55
高梁・新見	0	0	6	1	7
真庭	0	0	3	1	4
津山・英田	1	0	5	25	31
計	12	1	50	155	218

急性心筋梗塞医療連携パス H28下半期実績

H28年度 下半期	かかりつけ医療機関		計
	病院	診療所	
調査対象医療機関数	50	150	200
回答医療機関数	37	93	130
パス利用医療機関数	4	18	22
パス利用件数	16	26	42

安心ハート手帳アンケート調査 回答内容の推移

急性期病院	H25年度 上半期	H25年度 下半期	H26年度 上半期	H26年度 下半期	H27年度 上半期	H27年度 下半期	H28年度 上半期	H28年度 下半期
急性心筋梗塞による 入院患者数	414	450	419	444	399	489	433	494
パス利用件数	119	230	201	193	217	234	237	300
(うち院外紹介)【A】	89	179	168	140	157	155	143	234

かかりつけ医療機関	H25年度 上半期	H25年度 下半期	H26年度 上半期	H26年度 下半期	H27年度 上半期	H27年度 下半期	H28年度 上半期	H28年度 下半期
調査対象医療機関数	83	112	133	151	163	179	191	200
回答医療機関数	79	71	78	103	105	129	140	130
パス利用医療機関数	18	18	20	16	20	25	28	22
パス利用件数【B】	21	31	25	25	39	33	55	42

パス運用率 (【B】／【A】×100)	23.6%	17.3%	14.9%	17.9%	24.8%	21.3%	38.5%	17.9%
------------------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数 施設（届出医療機関数 施設）回収率:100%

（平成28年10月1日～平成29年3月31日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5
	急性心筋梗塞による入院患者数(人)	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のパス利用度及び件数		パスを利用しなかった理由	その他
岡村一心堂病院	5人	いた	無し		忙しくて手が回らなかった(安心ハート手帳のことを忘れていた、頭になかった)	
岡山医療センター	29人	いた	一部が利用	15人(院外紹介13人)	外科転科、死亡、当院での経過観察例が合わせて10数例あったため	
総合病院岡山協立病院	2人	いた	一部が利用	1人(院外紹介0人)	患者の理解が得られなかった	
岡山済生会総合病院	3人	いない	無し			非常に良くできています
岡山市立市民病院	27人	いた	全員が利用	27人(院外紹介22人)		
岡山赤十字病院	41人	いた	一部が利用	34人(院外紹介28人)	転院のため(3例CABG目的、1例認知症有り自宅退院困難なため)死亡退院のため3例	
岡山大学病院	8人	いた	一部が利用	1人(院外紹介1人)	1例死亡他院 他は当院通院中にて使用せず	Dr記入欄はタイミングを逃すと記入してもらえないので困っています
岡山ハートクリニック	17人	いた	一部が利用	4人(院外紹介0人)	患者の理解が得られなかった 忙しくて手が回らなかった	
岡山労災病院	21人	いた	全員が利用	17人(院外紹介5人)		
心臓病センター榊原病院	67人	いた	一部が利用	46人(院外紹介40人)	安心ハート手帳のことを知らなかった(院内での周知が図られていなかった)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血圧や体重などの記録用紙に関しては記録可能なページ数を増やしてもいいと思います。また、医療機関の外来や待合など、患者さんの手に取りやすくなるように推進活動をさらにすすめてもいいと思われます。</li> <li>・P3の「説明書」の表記は「説明者」の印字ミスではないかと思えます。</li> <li>・P7の「糖尿病管理目標値」の表記では、耐糖能異常の状態の方には伝えにくく、また「NGSPとして6.9」というのも糖尿病患者さんでも理解しづらいように思えます。ちょっと高いFBS、食後血糖が大きなりリスク因子に繋がることの啓蒙として、HbA1c、空腹時血糖、食後血糖(2h)の正常値を表記できるといいかなと思いました。</li> <li>・生活記録のページの「メモ欄」の幅を少し狭くし、体重・脈の記入欄の幅をもっと取れると書きやすいと思いました。</li> </ul>
川崎医科大学附属病院	83人	いた	一部が利用	27人(院外紹介10人)	忙しくて手が回らなかった 院内に在庫がなかった	若い患者は携帯電話のアプリケーションの開発でより心不全に積極的に取り組んでもらえると思います
倉敷中央病院	138人	いた	全員が利用	90人(院外紹介88人)		
津山中央病院	53人	いた	一部が利用	38人(院外紹介27人)	死亡退院、患者の理解が得られなかった、県外の方だった	
合計	494人			300人(院外紹介234人)		

アンケート結果 <急性期病院>

回答医療機関数 施設（届出医療機関数 施設）回収率:100 %

（平成28年4月1日～平成28年9月30日の実績）

医療機関名	問1	問2	問3		問4	問5
	急性心筋梗塞による入院患者数（人）	うちパスの適応症例者	問2で「いた」を選択した場合のパス利用度及び件数		パスを利用しなかった理由	その他
岡村一心堂病院		いない				
岡山医療センター	22人	いた	全員が利用	10人 (院外紹介10人)		かかりつけの先生がこの手帳をどの程度利用されているかのフィードバックがないので…。実際どの程度利用されているのでしょうか。
総合病院岡山協立病院	4人	いた	全員が利用	1人 (院外紹介0人)		
岡山済生会総合病院	5人	いた	無し		安心ハート手帳のことを知らなかった	
岡山市立市民病院	23人	いた	全員が利用	23人 (院外紹介-人)		
岡山赤十字病院	31人	いた	一部が利用	23人 (院外紹介19人)	4例死亡退院 4例CABG転院のため	
岡山大学病院	7人	いた	一部が利用	5人 (院外紹介4人)	患者の理解が得られなかった 転院したため ALSの合併症例のため(1例)	
岡山ハートクリニック	22人	いた	一部が利用	8人 (院外紹介0人)	7月より運用再開しました 今後は適応患者に対して運用していきます	
岡山労災病院	19人	いた	一部が利用	18人 (院外紹介8人)	忙しくて手が回らなかった	
心臓病センター榊原病院	76人	いた	一部が利用	21人 (院外紹介13人)	安心ハート手帳のことを知らなかった	「安心ハート手帳」3ページ真ん中の氏名を記入する欄に「説明書」とありますが「説明者」なのではないかと思えます
川崎医科大学附属病院	58人	いた	全員が利用	13人 (院外紹介8人)	忙しくて手が回らなかった 院内に在庫がなかった	なるべく小さめのサイズ(現行サイズ)が望ましい
倉敷中央病院	117人	いた	全員が利用	79人 (院外紹介79人)		
津山中央病院	45人	いた	一部が利用	36人 (院外紹介2人)	患者の理解が得られなかった 県外の方だった	サイズは小さくなってやはり使い勝手は良いようです
合計	429人			237人 (院外紹介143人)		

(平成28年10月1日～平成29年3月31日の実績)

※【 】内は前回調査での数字

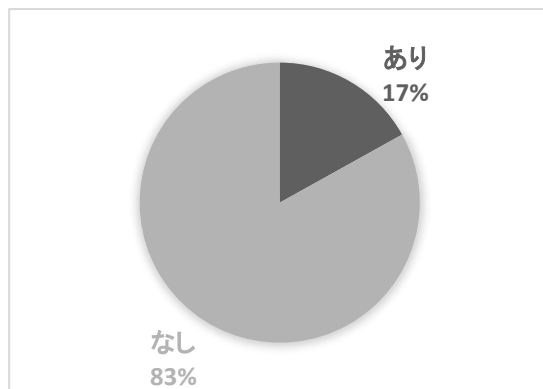
## アンケート結果 <かかりつけ医療機関>

回答医療機関数130施設(届出かかりつけ医療機関数200施設) 回収率:65.0%【73.3%】

問1 貴医療機関で「安心ハート手帳」の利用がありましたか。

- |      |         |
|------|---------|
| 1 有り | 22医療機関  |
| 2 無し | 108医療機関 |

「有り」とした22医療機関のうち、  
前回の調査でも利用があった  
医療機関  
・・・13医療機関



問2 問1で「1 有り」を選択した方にお聞きします。

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| ・パス利用件数     | 42件(22医療機関)   | 【55件(28医療機関)】 |
| ・連携した急性期病院  |               |               |
| 岡山赤十字病院     | : 6件(5医療機関)   | 【5件(5医療機関)】   |
| 岡山市民病院      | : 1件(1医療機関)   | 【0件(0医療機関)】   |
| 心臓病センター榊原病院 | : 6件(4医療機関)   | 【4件(4医療機関)】   |
| 倉敷中央病院      | : 29件(12医療機関) | 【44件(17医療機関)】 |
| 津山中央病院      | : 0件(0医療機関)   | 【2件(2医療機関)】   |

問3 「安心ハート手帳」について、何かお気づきの点がございましたら自由にご記入ください。

<主な意見>

### 【パスの利用があった医療機関】

- ・うまく利用されています。メモ欄にたくさん近況を書いてくださいます。
- ・内容は分かりやすいと思います。持参や本人の記録に関しては、本人の病識の問題だと思うので、医療機関側もモチベーションを上げる関わりが必要だと思いました。
- ・「安心ハート手帳」はサイズが小さくなって良かったと思います(持ち運びしやすくなり、持参される方が増えました。以前は家に置いて来られた方も多かったです。)
- ・「冠動脈疾患」も小さいサイズにしたらバランス良く持ちやすくなると思います。(小サイズでも字は見える方。心不全手帳も小さいですが、見えにくいという意見は聴かれていません)
- ・できるだけ簡略化した方が普及すると思います。
- ・30~40年間も終末まで治療しますので、コストが高くなり飽きてしまいそうです。

### 【その他の医療機関】

- ・患者さんが持参したことがありません
- 急性期病院での積極的な治療を期待します(多数)
- ・「青色の冊子(A4)」よくまとまった資料で大変役立つと思います。患者教育用に診療所でも活用させていただきたいと思います。
- ・一旦中断したら再開が困難となりました。患者、医者ともに時間的な制約のためでしょうか。有意義なシステムと理解はしていますが・・・
- ・記入が煩雑と思われる。

### 【共通】

- ・利用患者の基準など、再度の説明会があれば助かります。